

第 27 回（2026 年度）島根県障がい者スポーツ大会
「フライングディスク」競技会 開催要項

1. 目 的
この大会は、障がいのある人が、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいへの理解を一層深め、障がい者の社会参加促進に寄与することを目的とする。
2. 主 催
島根県 公益財団法人島根県障害者スポーツ協会
3. 共 催（予定）
松江市
4. 主 管（予定）
島根県障害者フライングディスク協会
5. 後 援（予定）※順不同
公益財団法人島根県スポーツ協会 社会福祉法人島根県社会福祉協議会 島根県身体障害者団体連合会 島根県手をつなぐ育成会 島根県知的障害者福祉協会 一般社団法人島根県精神保健福祉会連合会 島根県精神保健福祉士会 一般社団法人日本精神科看護協会島根県支部 島根県特別支援学校長会 松江市教育委員会 公益財団法人松江スポーツ協会 社会福祉法人松江市社会福祉協議会 松江市身障者福祉協会 NPO 法人松江市手をつなぐ育成会 松江市障害者スポーツ協会
6. 協 力（予定）※順不同
島根県パラスポーツ指導者協議会 島根県聴覚障害者情報センター ボランティアの皆様
7. 期 日
2026 年 5 月 16 日（土）
受 付 9：00～9：20 開会式 9：25～ 競技開始 10：00～
8. 申し込み期限
2026 年 4 月 28 日（火）
9. 会 場
松江市総合体育館多目的広場（松江市学園南 1-21-1 TEL：0852-25-1700）
※ 雨天時は松江市総合体育館サブアリーナでアキュラシー競技のみ行う。
10. その他
 - ・上記に定める項目の他は「島根県障がい者スポーツ大会全競技共通開催要項」を適用する。
 - ・競技の実施にあたっては、「第 27 回（2026 年度）島根県障がい者スポーツ大会『フライングディスク』競技会 実施要項」を適用する。
 - ・第 25 回全国障害者スポーツ大会（青の煌めきあおもり障スポ）に参加を希望する者は、「第 25 回全国障害者スポーツ大会（青の煌めきあおもり障スポ）個人競技選手募集要項」を参照の上、必要な手続きを行うこと。

本件に関する送付先・問い合わせ先

公益財団法人島根県障害者スポーツ協会
〒690-0011 松江市東津田町 1741 番地 3 いきいきプラザ島根 5 階
TEL：0852-20-7770 FAX：0852-32-5982 メール：info_office@spokyo.org

第 27 回（2026 年度）島根県障がい者スポーツ大会
「フライングディスク」競技会 実施要項

1. 競技規則

開催年度の公益財団法人日本パラスポーツ協会制定「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会の申し合わせ事項を適用する。

2. 参加区分

以下の 2 種目、もしくはどちらか 1 種目に出場することができる。

- (1) アクセラシー…障がい、男女、年齢の区分を問わない。
※ ディスリート 5・ディスリート 7 のいずれかを選択する。
- (2) ディスタンス…男女別とする。
※ 立位と座位を選択する。

3. 服 装

- (1) 運動に適した服装とする。
- (2) ゼッケンは主催者が交付するものを使用し、競技用服装の胸部と背部につける。

4. 練 習

指定した場所でのみ練習を許可する。

5. 招 集

- (1) 招集開始時間 … 競技開始 20 分前
招集完了時間 … 競技開始 10 分前
- (2) 招集開始時間になったら選手招集場所に集合し、競技役員の点呼を受けその場に待機する。

6. 入退場

競技場への入退場は、すべて競技役員の誘導により行う。

7. 競技方法

【アクセラシー】

(1) 競技場

- ① サイト（競技を行う場所）の設置は追い風を原則とする。
- ② アクセラシーゴールと隣のゴールとの間隔は 5m 以上とする。
- ③ 競技場には吹き流しを設置する。

(2) 用 具

① ディスク

競技用ディスクは、日本フライングディスク協会公認および推奨品（含む日本障害者フライングディスク連盟公認）の「ファストバックモデル」ディスクで、直径 23.5 cm、重量 100±5 g とする。

② アクセラシーゴール（標的）

- a. 材 質：鋼鉄製で円形部はオレンジ色焼付塗装仕上とする。
- b. 形 状：内径 91.5 cm の円形とする。パイプの径は 2.5 cm とする。
- c. 位 置：アクセラシーゴールの前面がスローイングラインと平行で外形の最下部が 61 cm になるように設置する[図 1 参照]。

③ スローイングライン（足留材）

- a. 材質：プラスチック製または木製とする。
 - b. 色：白色
 - c. 形状：長さ 160 cm、幅 6 cm、高さ 4 cmとする。
 - d. 止め方：競技場に完全に固定する。
 - e. スローイングアシストライン（視覚障がい者用補助具）：スローイング方向がわかるように、スローイングライン中央からアキュラシーゴール方向に直角に直径 1.5 cm、長さ 50 cmの丸棒を設置する。[図 2 参照]
- ④ 座位の部で使用する椅子は主催者側で用意する。

(3) 競技

① 種目

- a. ディスリート・ファイブ：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を 5mとする。
- b. ディスリート・セブン：スローイングラインの中央よりアキュラシーゴールまでの距離を 7mとする。

② 競技方法

- a. 試技は 10 投連続して行う。
- b. 投げ方は自由とする。
- c. 競技上有利となる用具の使用は認めない。
- d. プレーヤーが視覚障がい者の場合は、競技役員がアキュラシーゴール後方 3mの距離から電子音によってアキュラシーゴール中心部の位置を知らせることができる。
- e. 試技の時間は、プレーヤーが 1 投目のディスクを受け取ってから 5 分とする。5 分を超えた試技は無効とする。

③ 得点

得点は、ディスクが地面に触れずに直接アキュラシーゴールを通過した回数とする。逆方向から通過した場合は得点とならない。

④ 順位の決定

- a. 順位は、得点の多さで決定する。
- b. 同点の場合は、第 1 得点を先に挙げた者を上位とする。第 1 得点と同じ場合は、順次、得点を先に挙げた者を上位とする。
- c. bの方法によって 1 位、2 位、3 位が決定しない場合は、1 セット（3 投）の再投（追加試技）を行い、得点の多さで順位を決定する。ただし、4 位以下の者で同点の場合は、再投は行わず、同順位とする。
- d. cの方法によって再投を行った結果、同点となり 1 位、2 位、3 位が決定しない場合は、bの方法によって順位を決定する。
- e. 再投は、順位が決定するまで最大 5 セットまで行う。
- f. eの方法によっても順位が決定しない場合は同順位とする。

⑤ 反則

試技中に身体の一部や補装具（椅子等を含む）がスローイングラインのプレーヤー側の側面以外に触れたときは反則とする。ただし、フットレストがスローイングラインの上方空間に出ることは反則としない。反則のあった試技は 1 投とみなすが、得点は無効とする。

【ディスタンス】

(1) 競技場

- ① サイトの設置は追い風を原則とする。

- ② 1 サイトは横 20m以上、縦 6m以上とする。
- ③ スローイングエリアは、スローイングラインとスローイングエンドラインの幅 1.8mとする。[図 3 参照]
- ④ 競技場には吹き流しを設置する。

(2) 用具

競技用ディスクおよびスローイングラインは、アキュラシーと同様のものを使用する。

(3) 競技

① 種目

次の 4 つの区分に分けて行う。

- a. 座位女子
- b. 座位男子
- c. 立位女子
- d. 立位男子

② 競技方法

- a. プレーヤーはスローイングエリア内で試技をしなければならない。
- b. プレーヤーは試技の前に 1 投の練習をしなければならない。練習用ディスクは競技用と同規格のもので、色は黄色とする。
- c. 試技は 3 投連続して行う。
- d. 投げられたディスクの有効範囲は、競技フィールド前方 180° とする。
- e. 距離の計測は、スローイングラインの中央の計測点から、ディスクが最初に地面に触れた点までとする。[図 4]
- f. 投げ方は自由とする。
- g. 競技上有利となる用具の使用は認めない。
- h. 試技の時間は、プレーヤーが 1 投目のディスクを受け取ってから 3 分とする。3 分を超えた試技は無効とする。
- i. 座位で競技する場合のシートの高さはクッションを含め 75 cm以下とする。

③ 記録

- a. 記録は、3 投の試技で最も距離の遠い着地点を計測する。
- b. 計測は cm 単位とし、1 cm 未満は切り捨てる。

④ 順位の決定

同順位の場合、1 位、2 位、3 位は 1 投の再投（追加試技）により決定する。再投は、順位が決定するまで行う。4 位以下の者が同記録の場合は、再投は行わず同順位とする。再投の記録は公式記録としない。

⑤ 反則

- a. スローイングエリア外から助走をしたときは反則とする。
- b. その他のスローイングに関する反則は、アキュラシーと同様に扱うものとする。

【団体戦】

- (1) アキュラシーの個人戦に出場した選手のうち、上位 3 名の合計得点により決定する。
- (2) 合計得点が同点の場合には、チーム内で 1 位の選手同士の得点を比較し、先に第 1 得点を上げたチームを上位とする（以下同点の場合は、2 位、3 位の選手により決定）。なおこれによっても同じ場合には、双方を 1 位として取り扱うものとする。